



「時間を味方」に お金を増やすための知識

老後資金2000万円問題やコロナ禍を

経て、私たちを取り巻く環境が改めて浮き彫りになり、これまであまりお金のことに関心がなかった人でも、漠然とした不安やどうにかしなきゃという気持ちになったという人が多いのではないだろうか。

Under35世代は、不景気の中で育った世代です。今の自分の経済状況を考えて、結婚、出産、子育て、老後といった従来通りのライフイベントのためのお金の不安以前に、5年後、10年後、20年後の自分の経済状況がどうなっているか…という不安がありますよね。

でも、少しでもそういう風に思えていることが大事なんです。それはお金について真剣に考えたということだから。お金に関することは、若いうちから意識して行動に移すことで、未来が大きく変わります。

今回は時間を味方にお金とうまく付き合っていく方法を考えていきたいと思います。

若い「時間を味方につけられる

お金を貯めるのも増やすのも、早くからスタートするに越したことはありません。

例えば、40歳から60歳までの間に2000万円を貯めるのと、20歳から60歳までの間に2000万円を貯めるのでは、毎月貯める金額が違います。40歳からだとも毎月約8万円を貯金に回さないと60歳までに2000万円は貯まりませんが、20歳からであればその半分の毎月約4万円で2000万円を貯めることができます。これは単純に計算した金額で、ボーナス月は多めに貯金をしたり、投資をしてお金を増やしていくことにより、もっと早く目標金額に達することできたり、最終的に目標以上の金額にすることもできます。

ここで大事なのは、「若いうちからお金と向き合うこと」です。お金を貯めたり増や



ミレニアル世代のお金の専門家
横川 楓

○ [よこかわ・かえで] 1990年生まれ。経営学修士(MBA)、AFPなどを取得し、現在は唯一の「ミレニアル世代のお金の専門家」として活動。「誰よりも等身大の目線でわかりやすく」をモットーにお金の知識を啓蒙、お金の仕組みを学ぶ機会がない日本の幼少期からの金融教育普及に尽力している。雑誌、WEB、新聞等の連載多数。著書『ミレニアル世代のお金のリアル』（フォレスト出版）。

したりするのが遅くなればなるほど、月々の金額が高くなってしまいます。

ただ、若い頃の決して多くはない給料から数万円を貯金するというのも、難しいのが現実です。銀行に預けていてもお金の増え0.1%と、銀行に預けていてもお金の増えない時代に、毎月貯められるお金が少しかけたらとしたり…。そこで少しでもお金を増やしていくための方法が「投資」です。

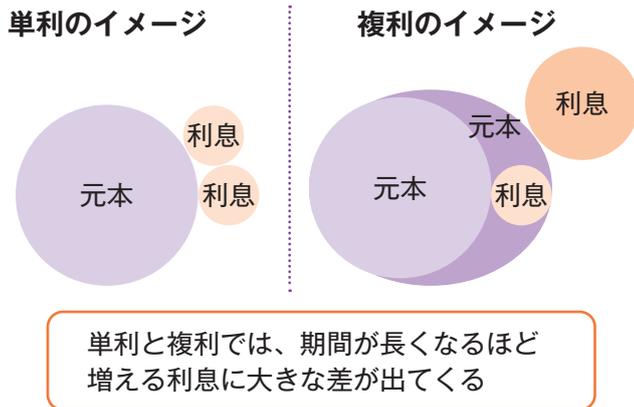
投資をする際の心構えと 注意点

投資はうまくいけばお金が儲かるということは知っているけど、なんだか怖いイメージがあったり、始めるには大金が必要というイメージがありますよね。最初に何十万円、何百万円という金額が必要な投資もある一方、ポイントを手元にしたたり、月100円から始められる投資もあるんです。いま、投資へのハードルは下がっています。



>>> Under35が身につけておきたいお金の知識

【図表1】 単利と複利



投資が銀行預金と大きく異なる点が、**元手となるお金は増える可能性もあるけど、減ってしまう可能性もある**ということです。銀行預金のように預けっ放しにするのではなく、自分の判断のもとリスクが少ない投資の仕方をするので、投資したお金が減ってしまう可能性を最少限にとどめながら、最大限にお金を増やしていくのが投資です。投資は大金もいらず、ハードルも低く、リスクはあれど、お金を増やしていける。とは言え、念頭においてほしいのは、あくまで**投資は余剰資金で行う**ということ。銀行の預金残高を全部使ってしまうと、**銀**は絶対にいけません。まずはいきなり大きな金額からスタートせず、「これくらいなら生活に支障がないな」という金額だけを、

投資に使うようにしてください。投資を始めるためには「証券口座」という投資専用の口座を開設する必要があり、証券会社の他メガバンクでも開設することができます。手数料やWeb上での使い勝手を考えると、ネット証券も検討すべきです。証券口座を開設したら、次はどんな投資をしていくか考えていくこととなりますが、初心者が堅実にお金を増やすためまず検討してほしいのが「長期投資」です。

焦らずゆっくりできる「長期投資」

「投資」と聞くと、トレーダーが安い時に買った株を値上がりしたタイミングで売る、株式の短期売買を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。常に値動きをチェックしていなければならない株式の短期売買は普通に働いていると難しいですし、大きなリスクも伴います。

投資にもたくさん方法がありますが、**手間をかけずに時間をかけることでお金を増やしていけるのが、長期投資**です。「長期投資」とは商品の種類ではなく、投資をする時のスタンスのことです。投資した商品を長期的に保有し続けることでお金を増やしていくイメージです。長期投資のメリットは、大きく分けて3つあります。

1つ目は、**複利の効果を得やすい**ということ。「複利」とは、簡単に言えば、投資で得た利益を元本に加えることで運用してい

く元本をどんどん増やして、元本が増えていく分、利益も雪だるま方式で増えていくような仕組みです【図表1】。つまり、複利の恩恵をうまく受けることができれば、**期間持つほど得られる利益が増えていきます**。

2つ目は、**分散投資**をすることで**リスクが軽減しやす**いこと。短期投資はタイミングが重要で、各銘柄の値動きを注視し、タイミングを見計らって売買し、ハイリターンに代わりにハイリスクです。それに対し、長期投資は長く保有することが目的のため、それぞれの投資商品の値動きを頻繁に注視する必要はなく、複数の投資商品を気持的に余裕を持って同時に運用することができます。1つの投資商品が損していても他の投資商品がマイナスをカバーしてくれることに期待できるので、その分リスクも分散できます。

3つ目は、**値動きに左右されずに投資を続けられる**ということ。株式の短期売買やFX（外国為替証拠金取引）などは、利益を上げるために日々変動する値動きを随時チェックして買いたい時も売り時も見極めが必要ですが、長期投資はその必要がありません。そう言った意味でも、値動きを見極めるのが難しい初心者や、働きながら投資に時間を割くのが難しいという人にもおすすめです。

このようなメリットを受けるため、若いうちから投資を始めて、長期的に投資をしていくことに意味があるのです。

【図表2】 定額の積立投資なら、安いときには多く購入できる

以下のような値動きの場合に、投資信託を最初に4万円分買ったとき、4カ月間、毎月1万円ずつ定額で買ったときを比べると…*1

	1カ月目	2カ月目	3カ月目	4カ月目
投資信託1万口の価格推移*2	1万円 ¥	2万円 ¥	5千円 ¥	1万円 ¥
最初に4万円分購入した場合	4万円	0円	0円	0円
	4万口	0口	0口	0口
毎月1万円ずつ購入した場合 積立投資	1万円	1万円	1万円	1万円
	1万口	5千口	2万口	1万口

価格が高いときは
少なく購入することになる

価格が低いときは
多く購入することになる

購入総額 4万円
 購入口数 計**4万口**
 平均購入単価
 (1万口当たり) **1万円**

購入総額 4万円
 購入口数 計**4.5万口**
 平均購入単価
 (1万口当たり) **約9千円**

*1 左の例は将来の投資成果を予測・保証するものではない。相場が継続して上昇し続ける場合等、一括投資の方が有利な場合がある。

*2 投資信託の取引単位は「口数」で示される。変動する投資信託の価格は「基準価格」と呼ばれ、多くは「1万口当たり」で示される。

少ない元手で
気軽に始めやすい投資は？

え、何から始めたらいいか迷ってしまいま
長期投資がラクでリスクも少ないとは言

出典：金融庁ホームページ「つみたてNISA 早わかりガイドブック」

すよね。投資初心者の方や、今は投資に使えるお金があまりないという方が投資の第一歩として始めるには「つみたてNISA」を利用した投資がおすすです。

つみたてNISAは投資の商品の種類というわけではなく、金融庁が作った制度で、初心者でも始めやすくなっています。

証券口座を開設した後、つみたてNISA用の口座を開設することで投資を始めることができます。つみたてNISAの対象になっているのは投資信託で、毎月、投資信託を購入して積み立てていく仕組みです

【図表2】

「投資信託」とは国内・海外の株式や債券などいろいろな投資の詰め合わせ商品で、株式投資のように1つの会社の株だけではないので、1つの商品の中だけで分散投資ができています。利益を上げるための運用をプロがやってくれるのも投資信託の魅力です。

本来、投資信託は運用をプロにお任せする分の手数料がかかるのですが、つみたてNISAでは手数料が低く、長期の積立や分散投資に適している金融庁の基準を満たした商品に対象が絞られています。初心者ほどの商品を選んだらいいか迷ってしまふところ、投資信託の膨大な数の商品の中から選ばずに済むというのも魅力です。

つみたてNISAの最大のポイントは、年間40万円まで最大20年間、投資で儲けた利益に対する税金が非課税という点です。

普通に投資をすると、その利益に対して約20%の税金がかかります。つまり、1万円の利益があれば、税金として2000円が引かれて、手元に残るのは8000円です。それがつみたてNISAだと非課税のため、その分、手元に残るお金が多くなります。

つみたてNISAは、証券会社によって毎月1000円の積立から始められます。月にコーヒー1杯分を我慢するだけで普通の投資よりも断然お得な投資が始められるのですから、やるに越したことはありません。つみたてNISAのように、投資信託を一定の金額で定期的に購入して積み立てていく投資の方法を「ドルコスト平均法」と

言います。投資商品を安い時に買って高い時に売るとは難しいですが、5000円、1万円などあらかじめ決めた金額を積立投資で定期的に投資していくことで、価格が高い時には少なく、低い時にはたくさん購入することができ、相場を読み違えて高い時に購入することも避けられ、自動的に購入する量も調整されます。

大きな金額を投資した商品が継続的に値上がりするということもあり得ますが、毎回そんなにうまくいくことはなかなかありません。そう考えると、常にタイミングを見計らったり、値動きに一喜一憂せずに済むのも積立投資のメリットです。

初心者にもハードルが低く、税金面でのメリットもあるつみたてNISAとは言え、自分のお金を使って投資することに抵抗が



>>> Under35が身につけておきたいお金の知識

ある人は、**まずポイントを使って投資体験をするのがおすすりめ**です。ポイントとは、楽天ポイントやTポイントなど、みなさんが普段の買い物で貯めているようなポイントです。

最近では、「ポイント自体を投資の運用のように増やしていく方法」と、「ポイントを元手に、投資信託や株式などの実際の投資商品を買うことができる方法」の2つの方法で、ポイントを利用した投資ができます。ポイントであれば自分のお金を元手としないので、より気軽に始められますよね。

投資は若いうちから始めておくことで、長期的により高い複利の効果を得られます。勉強してから始めるのも大事ですが、少額からでも実際にやってみることも大事です。まずはポイント投資で投資の流れをつかんだり、つみたてNISAで非課税の恩恵を受けつつ投資を実際に体験してみても、少し慣れたら他の投資にもチャレンジしてみるのがいいでしょう。

**貯金という考え方から
お金を残すという考え方に**

今回に限らず、今までお話ししてきたことを通して、私が同じUnder35世代として強く伝えたいのは、**自分のお金と向き合うにあたり、従来の常識や周りの意見にとらわれないでほしい**ということです。

少し前の時代は、年齢が上がるにつれて給料も上がり、今より物価も安く、消費税

も低く、給料から引かれる社会保険料も今より少なく、お母さんが専業主婦であつてもお父さん一人が家計を支えられるような時代でした。安定した収入がある中で、結婚や子育て、マイホームの購入、老後などステレオタイプなライフプランを作つて、その通りにマネープランを組むのが当たり前でした。

それに比べて、今の時代はどうでしょうか？ なかなか収入が増えず、手元に残るお金が少ない中、結婚資金が数百万円、子育て費用が数千円、老後資金が数千円と、普段の収入の中で将来のライフイベントのために必要とされている金額を前もって貯めていくことに実感がわかないという人がほとんどかと思えます。そして、それができない自分に罪悪感を持つてしまうこともありますよね。

一方で、今は昔と違って、結婚をしない生き方も、子どもを産まない選択肢もありますし、マイホームだつて買うことが当たり前ではなく、金銭的理由であきらめるといふケースも含めて、自分の意思でいろいろな生き方を選ぶことができる時代です。ステレオタイプなライフイベントは全く関係ない人もいれば、いつかは結婚して子どもマイホームもほしいけど、これから先まだどうなるかわからないという人もいます。

将来こうしたいという希望や思いはありつつも、日々の生活もある中で、収入からたくさんのお金を貯めるのつて実際なかなか

か難しいですよ。支出を切り詰めすぎると、資格取得などの自己投資や、友人との外食、一度きりのイベントなど、今しかできない・楽しめないことをする機会まで失つてしまうことになりかねません。

貯金と言うと、ずっと先の未来のために貯めて、手をつけてはいけないお金のようになってしまうがちですが、3か月後に休職するとか、1年後に大きな買い物をするとか、直近の未来でも、どんな理由でお金が必要になるかわかりません。

今の時代、私たちが考えるべきは、ただライフイベントのために必要だからと貯金する・お金を増やしていくという考え方はなく、今の自分も未来の自分も、何かがあつた時に、**複数の選択肢の中から自分が満足していく選択ができるように、最大限お金を残していく**という考え方です。

お金を取り巻く状況は人生に直結している、人それぞれです。若いうちから意識することで、残していくことのできる金額が変わつていきます。持ち家が賃貸かなど自分自身のライフスタイルに合ったお金の使い方を考えたり、結婚、出産などのライフイベントに関連する政府や自治体の経済支援策をチェックしたり、つみたてNISAのような制度を利用したり、便利なツールを使つてきちんとお金の管理をしたりと、使えるものは賢く利用して、決して無理せず、自分なりに今できる最大限の方法で、お金と向き合つていきましょう。